

福祉サービス第三者評価

〔令和4年度〕

評価結果報告書

株式会社MIRATZ
MIRATZ常盤台保育園

評価機関 有限会社エテルノ

| | |
|---|---|
| 1 | 理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） |
| | <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む ・みんなを親しみ愛し、太陽のようにあたたかい心を持った子供を育む ・地域と一体になって、子育て家庭をサポート ・健康な心と体を育て豊かな感性や表現力・創造性の芽生えを育む |
| 2 | 期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上） |
| | <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職として保育に対する向上心を持ち自分の言動や行動に責任感を持てる人間性。 ・子どもへ対して愛情と包容力、柔軟性、コミュニケーション力を持ち子どもの日々の成長、生活が豊かになる保育ができる人材。 ・日々過ごす中で様々なことに興味関心を持ちそれを保育に活かせるアンテナがたくさんある人。 |
| | <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間で様々な長所・短所を認め、感性や柔軟な発想、行動を通してお互いが刺激し合える関係性を作り保育に対する自主性と意欲、責任感を持てる人。 ・保護者との信頼関係の中で子育てに対して共有・共感・サポートし気持ちに寄り添うことができる心のゆとり、豊かさのある人。 ・子どもの成長をそばで見守り、丁寧な保育を行うなかで乳児期の大切な時期であることを意識し心豊かな、子どもの育ちとなれる 保育ができる人を目指してほしい。 |

| | | | |
|---------------------|--|--|--|
| 調査対象 | 保育園に通っている園児15世帯15人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。 | | |
| 調査方法 | 施設の職員が調査票を保護者へ配布した。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送または施設に設置した回収箱により回収を行った。 | | |
| 利用者総数 | 15 | | |
| 利用者家族総数(世帯) | 15 | | |
| 共通評価項目による調査対象者数 | 15 | | |
| 共通評価項目による調査の有効回答者数 | 13 | | |
| 利用者家族総数に対する回答者割合(%) | 86.7 | | |

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」69.2%、「満足」23.1%の計92.3%であった。自由意見では、「小規模の園だからこそとても面倒見がよくしっかり見てもらえています。」「部屋の飾り付けや行事の作成はいつも手が込んでいて、毎日クラスにくるのが楽しみになります。」「給食やおやつがとても手が込んでいて、目でも楽しめる食事だと思います。」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関する事など、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「行事日程」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満や要望の対応」「苦情窓口」などの17問中16問が80%以上の支持を得ている。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|--|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「一人遊びが上手くなりました」「言葉のボキャブラリーが増えました」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 12 | 1 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は92.3%、「どちらともいえない」の回答は7.7%であった。 自由意見では、「野菜を食べてくれます」という声が寄せられている一方、「魚のメニューを増やしてほしいです」という意見が寄せられていた。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|---|---|---|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「天気がよければ公園に連れて行ってくれ、雨の日でも園の中での遊びを工夫してくれます」「公園に行ったときに、遊びを覚えてくれるようになりました」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 11 | 0 | 0 | 2 |
| 「はい」の回答は84.6%、「無回答・非該当」の回答は15.4%であった。 自由意見では、「いつも笑顔で対応していただけるので、安心して相談ができます」「引き取り時間が変わったときに、一度電話をすればすぐに対応してもらえます」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「鍵の閉め忘れをしないよう、注意していただいていることがありがたいです」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「保護者が参加しやすい土日で開催してくれて助かります」「感染対策に留意しながら、多くの保護者が参加できるようにしていただいています」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「日々の相談ごとなど、小さいことでも話せています」「日々の様子や今後のことなど相談に乗っていただけて助かっています」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「いつもきれいに掃除をしてくれていて、安心します」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 12 | 0 | 1 | 0 |
| 「はい」の回答は92.3%、「いいえ」の回答は7.7%であった。 自由意見では、「先生によりますし、性格だと思うのですが、口数が少なく、笑顔が少ない方もいらっしゃいます」という意見が寄せられていた。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|---|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 11 | 1 | 0 | 1 |
| 「はい」の回答は84.6%、「どちらともいえない」の回答は7.7%、「無回答・非該当」の回答は7.7%であった。 自由意見では、「親より子どもの様子を見てくれていて、ちょっとしたことで気付いてくれます」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 8 | 1 | 0 | 4 |
| 「はい」の回答は61.5%、「どちらともいえない」の回答は7.7%、「無回答・非該当」の回答は30.8%であった。 自由意見では、「特にトラブルの経験がありません」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「趣味であること以外でも、挑戦ができるよう見守ってくださいます」「子どもの気持ちをいつも受け止めてくれます」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 11 | 0 | 0 | 2 |
| 「はい」の回答は84.6%、「無回答・非該当」の回答は15.4%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 11 | 1 | 0 | 1 |
| 「はい」の回答は84.6%、「どちらともいえない」の回答は7.7%、「無回答・非該当」の回答は7.7%であった。 自由意見では、「質問をするとスピーディーに回答してくれます」という声が寄せられていた。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか | 13 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 | | | | |

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

| No. | 共通評価項目 | |
|---|---|----------------------|
| サブカテゴリ1 | | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している | ○非該当 |
| サブカテゴリ1の講評 | | |
| <p>園の情報をホームページやSNS等で発信しており、利用希望者が自由に閲覧できている</p> <p>開園時間や対象年齢、定員等の基本情報は、法人ホームページから得ることができる。法人で統一された使命・ありたい姿・行動規範等も併せて掲載し、園の目指す保育と取組を発信している。また、入園を検討する方が自由に持ち帰れるように、玄関先には園のリーフレットを入れたポストを設置している。園の公式SNS(Facebook・Instagram・Twitter)を開設し、月1～3回の更新を行いながら、園の様子や食育・行事・手作り玩具等を紹介している。在園の有無に関わらず、地域の方や利用者希望者がいつでも閲覧することができる。</p> <p>見学は様々な媒体から受け付けられる体制を整え、希望時間にも柔軟に対応している</p> <p>利用希望者の見学については、法人ホームページのフォームや電話・LINE等の様々な連絡手段から申し込める体制を整えている。また、入園時期を考慮しながら希望の来園日時(午前・午後・実際に見たい保育時間)などの調整をしている。職員は「見学問い合わせ表」に子どもの月齢や連絡先、見学方法(来園・オンライン)などの情報を記入し、一覧にまとめている。感染症拡大防止に配慮し来園者数の制限を行っているが、保護者と子どもが実際に園の様子を見る機会を大切にしているため、相談があった場合には柔軟な対応を検討している。</p> <p>近隣の公共施設や学校への情報発信を行い、園の取組を知ってもらえるように努めている</p> <p>見学対応に関しては、主に園長と地域担当リーダーが行っている。離乳食育児家庭の見学者には、年2回実施している離乳食試食会への参加を呼び掛けている。参加型の行事開催や育児相談・体験保育等を行う際には、最寄りの駅の掲示板や児童館へのポスター掲示を行っている。また、学生にも園を知ってもらえるように、近隣学校と連絡を図り、ポスター掲示を依頼している。外国籍の方の見学対応においては、翻訳アプリや絵カードを活用しながらコミュニケーションを図っている。紙媒体の配布物については、ひらがな表記の物を用意して渡している。</p> | | |

| サブカテゴリ-2 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 6/6 |
|--|--|----------------------|------|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | | |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2の講評 | | | |
| <p>入園時には面談を行い、園生活に関する重要事項を丁寧に説明している</p> <p>入園が決まった際には、入園に関する書類一式と個人面談・健康診断の日程表を送付し、面談の日に入園書類の記入内容を確認している。園運営に関する重要事項や園を利用するにあたって必要な約束事項などは入園前面談を実施していたが、感染対策の一環から入園前検診が終了し書類の記入が終わってから(入園日の約1週間～3日前が多い)実施している。面談により、保護者の思いや園への要望などを細かく把握することができ、全職員に周知して保育に反映させている。さらに、途中入園の場合にも、園長との面談で細かな情報を説明している。</p> <p>入園時には個々の生活リズムに準じて保育を進め、慣れていけるように配慮している</p> <p>入園時に保護者が提出する「入園前の生活状況」という書類には、健康や食事、情緒、好みなどに関する内容を項目別に記入するようになっており、面談にてその詳細を確認しています。また、子どもや保護者が安心して園生活を始められるように、慣らし保育の計画を説明する「慣らし保育について」も説明している。保護者との相談の下で一人一人が家庭で過ごしていた生活リズムに準じて保育を進め、好きな遊びや入眠時の癖などに対応しながら、安心して保育環境に慣れていけるように配慮している。</p> <p>子どもや保護者の不安な気持ちを傾聴するなど、寄り添いの姿勢で支援している</p> <p>卒園前には全園でお別れ会を実施し、クラス担任からクラスでの集合写真を添えた「メッセージカード」制作物をまとめた「思い出作品集」のプレゼントを贈っている。利用者に書類の返却はしていないが決められた期間(3年間の保管と管理)を行っている。引っ越しなどで途中退園する利用者に関して転園先に引き継ぐ書類は現在のところ無いが、子育て支援事業について、必要に応じてお知らせを案内している。</p> | | | |

| サブカテゴリ-3 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 12/12 |
|---|--|----------------------|-------|
| 3 個別状況の記録と計画策定 | | | |
| 評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | ○非該当 | |
| 評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している | | 評点(〇〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に応じて、作成、見直しをしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている | ○非該当 | |
| 評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | ○非該当 | |
| 評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-3の講評 | | | |
| 子どもたちの日々の成長を保育の視点から総合的に捉えて対応している 入園時の提出書類で食事や健康、家庭状況、既往歴などを把握し、入園後も個々の連絡帳や個人日誌・健康日誌を作成して日々の状態を把握している。個人日誌は、個人別指導案や児童票と同じ用紙に記入できる法人の書式を活用しており、子どもの姿と保育的なねらい、アプローチ、結果、評価、反省を総合的に把握できるようになっている。また、送迎時のコミュニケーションや個人面談などで子どもの興味や頑張っている姿を伝えている。 | | | |
| 個々の成長や保育の方向性を保護者とも共有して保育にあたっている 保育所保育指針と法人の保育理念・方針・目標を反映した全体的な計画を基に、各種年間指導計画を綿密に策定し、月間指導計画や週案・日案は連動した書式を活用することで保育計画を日々の生活に反映しやすいように工夫している。年間のクラス目標や子どもたちの様子は保護者会でも伝えていますが、個々の成長や保育の方向性は個人面談にて保護者と共有している。面談を行う際は個人の記録や目標を参照にして行い、面談の結果も個人別指導案に反映している。保護者より希望があった場合は指導案や児童票の開示を可能としている。 | | | |
| 定期的な振り返りや職員間の連携を深めて子どもたちの成長を見守っている 0～2歳児は月単位で振り返りの記録を残し、養護・教育・健康・食事などの視点から成長を捉えるように配慮している。当園では、全職員ですべての子どもを見守っていく体制が整えられており、指導計画や個人記録、職員会議録に関してはファイリングをしていつでも確認したい時には職員が閲覧できるようになっている。また、登降園チェック表などを使用して日々の情報共有、確認を行っており、職員会議録や申し送りで必要な物については、事務室に保管、掲示している。 | | | |

| サブカテゴリ-5 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 5 / 5 |
|---|--|----------------------|-------|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | | |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの置動心に配慮した保育を行っている | | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | | ○非該当 |
| サブカテゴリ-5の講評 | | | |
| <p>個人情報の使用目的をイメージしやすいように書面で詳しく説明している 入園時や進級時には、「個人情報確認書」を配布し、園生活の中で写真や名前を使用する可能性がある事例を具体的に掲げて保護者にわかりやすく説明している。また、子どもに関する情報を外部とやり取りする事が新たに必要の際は、その都度保護者の確認や同意を得てから行っている。日々の保育においても、着替えや排せつの場面が他者から見えないように工夫し、失敗やトラブルがあった際には子どもの羞恥心やプライドにも配慮しながら子どもの気持ちに寄り添って対応している。</p> <p>法人の保育理念でもある寄り添いの姿勢を目指し、あたたかい保育を心がけている 職員は面談や日々のコミュニケーション、保護者会、アンケートなどの機会を積極的に設けて保護者の意向や各家庭の状況を把握できるように努め、保護者の思いを尊重しながら一番良い関わりを見出していけるように配慮しています。また、法人の保育理念にもある「希望に向かって発展・向上する明るい子どもに」という想いのもと、日々、お子様の成長を見守り、安心した心持ちで過ごしてもらえるように配慮している。</p> <p>子どもの人権を尊重して丁寧に保育にあたるよう理解・意識を重ねている 職員は、保護者の考え方や家庭の状況などをしっかりと捉え、必要な時に必要な支援ができるように努めている。また、保育所としての役割や責務の重要性を認識して、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて理解を深めるために、板橋区子ども家庭支援指針(虐待防止対応ガイドライン)を基準として職員への周知に取り組んでいる。人権擁護のためのセルフチェックリストを参考にして職員一人一人が人権について理解・意識していき、個々の生活状況(個人面談で得た情報)や個性、性格をしっかりと捉えていき、細やかな配慮と保育を行っている。</p> | | | |

| サブカテゴリ-6 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 5/5 |
|--|---|----------------------|-----|
| 6 | 事業所業務の標準化 | | |
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改定の時点や見直しの基準が定められている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-6の講評 | | | |
| <p>事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等は手引書等で明確にしている 年間計画やマニュアル類が活用されるよう、マニュアル類は分野ごとに作成されており、さらに内容に沿って細かく分類した手引書がファイルに納められ、基本事項や手順等を明確にしている。新入職員には以上の基本的マニュアルを入社前に配布しており、既存職員も日頃の保育で園の方針に沿った内容を理解して対応にあたるように、活用している。</p> <p>保育の内容が、定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかをチェックしている 園のマニュアルについては、監査後、年度末保育中の課題など変更が必要となった時に都度見直しを行っている。板橋区の保育巡回などで助言をいただいた際や職員からの提案や変更要望等があった際にも見直しを行っている。マニュアルの内容に変更がある場合は、全体に周知して速やかに反映させ、現場で活かせるようにしている。</p> <p>保育の振り返りには職員や保護者等からの意見や提案が反映されている 職員からの提案があった際には職員会議等で意見交換を行い、保護者の方からは運営委員会や保護者アンケートなどでご意見ご要望をお伺いし反映する仕組みが整備されている。一方、新入職員もリーダーも先輩職員も一緒に、より良い保育とは何かを模索しながら保育内容や運営方法のレベルアップを考えている。</p> | | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

| | | サブカテゴリー4 | |
|--|--|-------------------|---------|
| サービスの実施項目 | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 34 / 34 |
| 1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている | | | |
| | | 評点(〇〇〇〇〇)・非該当1 | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している | | ●非該当 |
| 評価項目1の講評 | | | |
| <p>日々子どもの姿を把握し、周囲の人や物と関ることを大切に保育している</p> <p>入園時に児童票・入園面接シートをもとに子どもの情報を把握し発達状況を個別発達記録に記入している。日々連絡帳での遣り取りや送迎時の会話で生活環境の変化や体調などを把握し、子どもの状態に合わせ柔軟な保育を行っている。いろいろな遊びを自分で選択し楽しめるように保育室の玩具、ロッカー、棚などを月齢に合わせて準備し設置している。成長に合わせて自分で物の出し入れができる環境を整え、周囲の人・もの・ことに自分から働きかけ自主性を育めるよう配慮している。担任以外との関りや、大人とゆっくり過ごす時間を大切に保育している。</p> <p>子どもがいろいろな友達に興味や関心を持ち、関わって遊ぶことを大切にしている</p> <p>朝・夕の保育では合同の異年齢保育を行い、年齢の違う子ども同士と一緒に過ごす中で、互いに興味・関心を持ち、世話をしたり、真似たりなど育ち合うことを大切にしている。言語や生活習慣が違う子どもと一緒に楽しく過ごせるよう子ども同士の関係性を大切に、援助している。一緒に過ごす中で生じる子ども同士のトラブルは人との関わり方を学ぶ大切な経験となるため、わかりやすい言葉で気持ちや思いを代弁し伝えている。双方の気持ちを受容し汲み取ることを心がけ、やって良いこと、してはいけないことがわかるように援助している。</p> <p>特別な配慮が必要な子どもが友だちと一緒に楽しく過ごせるよう様々な配慮をしている</p> <p>家庭と連携を取りながら、友達と一緒に過ごす環境の中で大切にしたいことや必要な経験を考え保育に繋げている。保育士の人数を考慮し、子どもが楽しく過ごせるよう援助を行い、子ども理解に努めている。区の発達巡回相談を3か月に一度を目安に受けて、保育内容についての助言をもらい、保育に反映させている。子どもの様子を丁寧に見ることを心がけ、個別月案を立てて子どもの特性に合わせた配慮や関わりを確認し、情報を全職員が共有することで担任だけでなく、他の職員も同じように援助できる保育に取り組んでいる。</p> | | | |

| | | |
|---|---|------------|
| 2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | ○非該当 |
| 評価項目2の講評 | | |
| <p>登園時に子どもの様子を把握し、個々に応じた保育を行っている</p> <p>登園時、当番職員や担任が受け入れをした際に視診、検温を行っている。保護者とコミュニケーションを取りながら、家庭での様子や体調、変化の有無について聞き取りを行い、子どもの状態を確認している。当番職員が受け入れで把握した情報は登降園チェックを用いて担任に申し送りをし、日中の保育へ繋げている。前日に欠席している子どもや、体調に不安があった子どもについては保護者からの聞き取りや、連絡帳の記録で子どもの様子を丁寧に把握し、個々に応じた保育へ反映させている。</p> <p>基本的な生活習慣や生活リズムを大切に個々の子どもに合わせた援助を行っている</p> <p>基本的な生活習慣が身につくように、子どもの様子や援助方法について送迎時に保護者と確認し、子どもにとって今必要な関りができるように、家庭と園とで連携した援助に繋げている。直接話ができない時には、連絡帳などで丁寧に様子を伝えている。園日より、保健日より、給食日よりで生活リズムと基本的な生活習慣についての情報を保護者に発信している。月齢や睡眠サイクル、体力、体調に合わせて午前寝、午睡、午後寝など個々に必要な睡眠時間を確保し、活動の合間に水分補給をしたり動と静の時間を設け休息が取れるようにしている。</p> <p>子どもの一日の様子を様々な方法で保護者に伝える工夫をしている</p> <p>降園時に担任や当番保育士が短時間でも子どもの一日の様子を保護者に伝えることを心がけている。日々情報を共有しどの職員でも子どもの様子が伝えられるよう取り組んでいる。保護者からの相談や要望に耳を傾け、登園チェックに記入して担任に申し送ることで保育に反映する仕組みを取っている。連絡帳を用い、一日の様子がわかりやすく伝わるよう内容を意識して記入している。行事や食育、散歩などの保育の様子を定期的にSNSで発信し、保護者が映像や写真で確認できるようにするなど、様々な方法を用いて保護者に伝える工夫をしている。</p> | | |
| 3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している | | 評点(〇〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 戸外・遠外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもががまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | ○非該当 |
| 評価項目3の講評 | | |
| <p>子どものやりたい気持ちを大切に、自発的に遊べる環境作りを行っている</p> <p>発達を踏まえ子どもがやりたいと思ったことを楽しみ、達成感が味わえるよう遊び環境を整えている。玩具を自分で取り出しやすいように整え、集中して遊んでいる時には遊び込める環境を作るなどパーソナルスペースに配慮している。保育室の中に、静(やわらかいマットや机や椅子を使い、パズルや絵本、ままごとやブロック)と動(広いスペースで平均台やマット運動、体操)のスペースを確保して子どもの身体を動かしたい要求や興味関心を大切にしている。子どもの「やりたい」や「やってみよう」としている心の動きを大切に環境作りを行っている。</p> <p>子どもの言葉の育ちを大切に様々な表現遊びを楽しむ保育を行っている</p> <p>保育士との応答的な関りの中で、子ども自らが発する言葉を大切に保育を行っている。ごっこ遊びや見立て遊びを通して遣り取りや会話の楽しさを学び、言葉を獲得していけるよう個々にあった言葉がけを行っている。絵本やフラッシュカード、絵カードを使って物の名前や言葉に興味関心を持つ環境を作っている。季節に応じた歌や、手遊び、楽器遊びなどでリズムにあわせて表現することを楽しんでいる。絵の具やクレヨン、紙を使って制作活動をしたり、感触を楽しみながら粘土遊びを行うなど子どもが自由に表現することを大切に保育に取り組んでいる。</p> <p>散歩を楽しむ中で地域や自然に触れ、生活や遊びを通してルールの大切さを伝えている</p> <p>天候の安定している時には積極的に戸外に出かけ、公園や親水緑道、歩道橋から電車を見たり、車が見られる場所に行くなど、様々な散策を楽しんでいる。戸外活動の中で、天気や気温を感じることや、草花や木々の色、どんぐり、霜柱などいろいろなものを発見する楽しさや触れる機会を大切にしている。散歩に行く時には危険があることをわかりやすく伝え、友達や保育士と手を繋ぐようにしている。友達が使っている遊具を使いたい時には気持ちを汲み取りながら順番に使うことを伝え、友達と楽しく遊ぶための身近なルールを体験できるようにしている。</p> | | |

| | | |
|---|---|---------|
| 4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ○非該当 |
| 評価項目4の講評 | | |
| <p>子どもが楽しく参加できる行事や季節行事を行い、楽しい経験に繋げている</p> <p>子どもの誕生月に0・1・2歳児が集まって皆でお祝いする誕生日会を行っている。月齢に応じたわかりやすい言葉でお祝いの意味を伝え、誕生月の子どもが主役となりお祝いする楽しさや思いやりの気持ちが育つように取り組んでいる。季節行事は七夕・夏まつり・敬老の日・ハロウィン・勤労感謝の日・クリスマス・初詣・節分・ひな祭り・卒園式といういろいろな行事を行い、それぞれの行事の意味をパネルシアターやペープサートなどでわかりやすく子どもに伝えている。給食に行事食を取り入れるなど様々な方法で行事を行い、楽しい経験となっている。</p> <p>友達と一緒にいろいろな行事に参加し、楽しさを共感している</p> <p>新しい仲間を迎えて5月に行う「お楽しみ会」では、みんなで大きな紙に絵の具で色をつけ壁一面に飾るアジサイの装飾を作っている。少し離れた大きな公園に朝のおやつのリゴジュースを飲みに行くミニ遠足を行い、0歳児もカートに乗って参加し喜ぶ姿が見られている。生活発表会をクラスごとに行い、手遊びや体操、劇遊び、音楽に合わせて音を奏でるなど、友達と一緒に楽しんでいる様子を保護者に見て貰っている。いろいろな行事に参加する中で、友達と一緒にの楽しさを感じ、共感することを園は大切にしている。</p> <p>子どもが楽しく行事に参加できるよう保護者の協力を得る工夫をしている</p> <p>行事を行うにあたり年度当初や入園時に年間行事計画を保護者に配布し周知を図っている。保護者参加の行事に関しては開催の1か月前頃に行事内容(日時・場所・持ち物)、流れ(時系列)、協力願ひ、参加有無の確認の手紙を配布し理解や協力をお願いしている。家庭に配慮の必要な場合には、個人的に要望を聞き対応している。行事後にはアンケートを配布し実施内容についての率直な意見や要望を把握している。アンケート結果をもとに次の行事計画に反映させ、参加しやすい内容への改善に繋げている。</p> | | |
| 5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ○非該当 |
| 評価項目5の講評 | | |
| <p>子どもの様子に合わせて、保育時間が長くなる中でも安心して過ごせるようにしている</p> <p>長い時間の保育の疲れなどに配慮し、夕寝が必要な子は静かな部屋へ移動するなど一人一人の様子、生活リズムに配慮し保育している。保育室には寝転んでも痛くないマットを敷き横になってくつろげる家庭的な雰囲気や大切にした環境を作っている。他の子どもが帰っていく様子を見て不安になる子どもには、気持ちを受け止め寄り添うことを心がけている。子どもの好きな絵本や心のよりどころになる玩具などを用意してゆっくり関わり、お迎えまでの時間を安心して過ごせるよう配慮している。</p> <p>保育形態の変化に合わせて子どもが安全に楽しく遊べるよう環境を整えている</p> <p>子どもの状態や時間によって合同保育となるため、異年齢で過ごす保育となった時には、細かい玩具などの誤飲や机や椅子など危険に繋がるものについては除去し、職員の配置人数に気を付けて保育を行っている。それぞれの年齢に合わせた無理のない保育内容を考え、ゆっくり落ち着いて過ごせる遊びを提供している。パズルや絵本、シール貼りや自由画など、子どもが自分のペースでゆっくり遊べるように環境を整え、子どもの感情や気持ちに寄り添った保育を行っている。</p> | | |

| | | | |
|---|--|-----------------------|-----|
| 6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | <input type="radio"/> | 非該当 |
| ●あり ○なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | <input type="radio"/> | 非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | <input type="radio"/> | 非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | <input type="radio"/> | 非該当 |
| 評価項目6の講評 | | | |
| <p>子どもが落ち着いて楽しく食べることを大切にされた雰囲気作りを行っている</p> <p>保育室を活動スペースと食事のスペースとに分けてゆっくり食事が取れる環境を作っている。給食の歌を歌って友達や保育士と一緒に楽しく食べる雰囲気作りを行っている。食事のはじめと終わりに「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をし食事のマナーを伝えている。自分で食べたい気持ちや一人で食べられるようになった姿を大切に、食事の補助や「おいしいね」「上手にできたね」など子どもの意欲を引き出す声掛けをして楽しい雰囲気作りを行っている。完食にはこだわらず子どもの適量やその日の体調を考慮し楽しく食べることを大切にしている。</p> <p>子どもの体調やアレルギーに配慮した食事の提供を行っている</p> <p>子ども一人一人の好みや食事を把握し、体調の変化が見られた場合には栄養士と連携して子どもの状態に合わせて柔軟に対応している。文化の違いで食せない食材がある場合は、保護者と相談し代替えなどの提供方法について確認している。アレルギーのある子どもについては、入園面接時にアレルギーについて確認し、食物アレルギー対応マニュアルに沿って対応している。医師記載の生活管理指導表を提出し、貰い、除去や代替えなどの対応をとっている。提供にあたっては黄色のトレイとピンクの食器で他の子どもとの差別化を図り、安全な提供に努めている。</p> <p>メニューや盛り付けを工夫し、子どもが食に興味や関心をもてるよう食育を行っている</p> <p>栄養士が毎日各クラスをまわって子どもの喫食状況を確認し記録を取っている。子どもたちの好みや食事の形状はどうかなどを確認し、献立の立案や提供方法に反映させている。献立は月に2回のサイクルで作成しており、誕生日会や行事の時には特別メニューとして行事食の提供をしている。お弁当箱を使用したお弁当給食や子どもからのリクエストでメニューを決めるお楽しみ給食など子どもが喜ぶ様々な工夫をしている。夏野菜の栽培や食材の皮むき、おにぎり作りなど様々な食育を行い、食に対する興味関心に繋げている。</p> | | | |
| 7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように理解している | <input type="radio"/> | 非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | <input type="radio"/> | 非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | <input type="radio"/> | 非該当 |
| 評価項目7の講評 | | | |
| <p>保健計画をもとに子どもが健康に過ごせるよう保健指導や健康な身体作りを行っている</p> <p>保健計画をもとに子どもが健康に過ごせるよう感染対策や保健指導を行っている。「手にバイキンがついているとお腹が痛くなってご飯がおいしく食べられないよ」と栄養士が子どもたちにわかりやすくイラストを用いて手洗い指導をしている。子どもが家に帰って手洗い方法を保護者に伝える様子が見られ、子どもの興味関心を育てている。年に4回保健だよりを発行し、家庭でできる感染対策に子どもと一緒に取り組むことを推奨している。体操・リトミック・サーキット・滑り台など身体を使った遊びを各クラスで行い健康な身体作りに取り組んでいる</p> <p>医師との連携のもと、子どもが安全に過ごせるよう体制を整えている</p> <p>熱性けいれんやアレルギーのある子どもの安全が図れるよう、主治医から処方された薬を預かり、緊急時に備えている。緊急薬については、主治医から指示書を貰い園で保管している。保護者記載の与薬依頼書を提出して貰い、使用前に保護者に連絡して指示を仰ぐ体制を取っている。事前に必要な対応がある場合は、囑託医と連携を取り対応している。その他の事例については保育園の体制などを十分に検討したうえで囑託医、区と十分協議すると共に緊急対応の可能な協力医療機関、区との連携を想定して支援体制を整え保護者と検討して決定するよう考えている。</p> <p>子どもが健康を維持し元気に過ごせるよう保護者と情報を共有し連携を図っている</p> <p>入園面接時や進級面談時に、入園のしおりに記載している。乳幼児突然死症候群SIDSについての対応を伝えている。午睡時にうつぶせ寝にならないよう都度仰向けに直していることを伝え、家庭にも協力依頼している。午睡エックを0歳児は5分おき、1～2歳児は10分おきに行い、子どもの安全を図っている。区からSIDS月間などの周知依頼を受けた時には、玄関掲示などを使用して保護者への周知を図っている。感染症発生時は、掲示を行い、登降園の際に保護者に注意喚起の声掛けをするなど子どもの健康維持に努めている。</p> | | | |

| | | | |
|---|--|----------|------|
| 8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | | ○非該当 |
| 評価項目8の講評 | | | |
| <p>個々の事情を把握し、保護者の負担軽減や個別の要望に柔軟に対応している</p> <p>児童票、家庭状況調査票を用いて個々の家庭状況を把握している。就労状況を踏まえて保育時間の決定を行っているが、急な残業などの要望がある時には状況に応じ対応している。保護者の通院や家族の付き添いなどの様々な事情に柔軟に対応している。園で使用するものを準備する際は家庭にあるものを基準とし、負担のないよう配慮している。園側から持ち物などに細かな指定をせず、子どもが使いやすいもの、過ごしやすいものをお願いし、散歩用帽子、布団は園で準備し管理している。</p> <p>保護者同士が交流する機会や職員との信頼関係を大切にしている</p> <p>保護者会や懇談会、夏祭り、発表会などの保護者参加の行事や懇談する機会を作り、保護者同士の交流を大切にしている。懇談会では担任や保護者の自己紹介を行い互いの顔を知り、子どもの発達や成長、子育ての悩みや情報が共有できる関係性が作れるよう配慮している。職員と保護者の信頼関係が深まるよう、送迎時や連絡帳で家庭や園での様子、エピソードを伝え合い日々のコミュニケーションを大切にしている。子育てに対する保護者の気持ちに寄り添い、共感し、困っていることや些細なことでも話せる雰囲気意識して信頼関係の構築に努めている。</p> <p>保護者参加の行事や懇談会、お便りなどを通して子どもの育ちの大切さを知らせている</p> <p>年間行事予定表や行事のお知らせを配布して参加を促し、保護者参加の行事については仕事の調整がしやすいよう配慮している。保護者アンケートで要望の多かった土曜日午前中開催を軸とすることで、参加しやすい行事となり、子どもの育ちを伝え共有する場となっている。懇談会では育児について保護者同士が話せる時間を大切にし、保護者の養育力向上へ繋げている。保護者向け掲示物、園だより、給食だより、食育だよりや年2回の運営委員会で保育の様子や子どもたちの取組を伝え、子どもの育ちで大切な経験や力について共通認識が持てるようにしている。</p> | | | |
| 9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | | ○非該当 |
| 評価項目9の講評 | | | |
| <p>地域貢献活動に取り組みいろいろな交流や様々な体験を行っている</p> <p>園は子どもたちが地域の中で様々な体験や交流を持つことを大切にし、敬老の日に合わせて近隣の介護福祉施設と交流を行っている。コロナ禍で直接の交流はできなかつたが子どもの手形で作った花束をプレゼントし、とても喜ばれている。お礼にタオルで作ったうさぎをもらい、心の触れ合う交流となっている。勤労感謝の日に合わせて2歳児がプレゼントを届けに消防署を訪問し、消防車を見たり、運転席に座らせてもらう体験をしている。地域との関係を大切にし、地域貢献活動に取り組む中で子どもが様々なことを経験し、地域の中で育つことを大切にしている。</p> <p>地域の人と様々な交流を行い、人と関わる楽しさを体験している</p> <p>園は地域社会に生き生きと共生する子どもを育むことを園の理念・方針とし、様々な地域貢献活動を行っている。様々な人と関わることを大切にし、老人施設との交流や中学生の職場体験の受け入れを行っている。職場体験で受け入れた中学生と共に過ごすことでいろいろな関わりを楽しんでいる。感染対策をとり近隣子育て家庭を対象に保育所体験を行い、子どもたちが近隣の子どもと関わる機会を持っている。地域行事への参加に難しさがある中、どうしたら関わりをもつことができるかを考え、地域の人や在園以外の子どもと関わる活動に積極的に取り組んでいる。</p> | | | |

Ⅲ 利用者保護に関する項目

| 利用者保護に関する項目 | | 標準項目実施状況 | 9/9 |
|---|--|-----------|-----|
| 1 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| あり | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | | |
| あり | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | | |
| 2 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| あり | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | | |
| あり | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | | |
| 3 評価項目3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(〇〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| あり | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | | |
| あり | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | | |
| あり | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | | |
| あり | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | | |
| あり | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | | |
| 利用者保護の講評(※利用者保護の内容から3つ(必須)記載してください) | | | |
| <p>苦情解決、虐待対応・予防にはシステムを整備し、職員に周知を図っている</p> <p>苦情解決については重要事項説明書に内外の相談窓口を記載し保護者に説明を行い、掲示もされている。当法人及び園では保護者への対応を重視しており、アンケートや意見箱も含む様々な方法で保護者からの意見等を聴き取るようにして、クレーム対応マニュアルに沿った解決を図るように努めている。虐待への対応については虐待対応・防止マニュアルに従って年間計画を策定しており、内外の研修受講、定期的なチェックリストでの確認や話し合い、他県の情報や報道によるニュースなどを参考にしながら、自己点検による注意喚起や確認を行っている。</p> <p>虐待が行われることのないように日常の言動を振り返り組織的に防止対策を徹底している</p> <p>利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないように、保育についての基本的な行動周知について職員会議や職員の個人面談等でどの様に保育を行い対応していくかの話し、考えを問いかける機会や人権擁護のセルフチェックリストなどを定期的に使用して自己の行動を振り返る機会を設けてより良い保育へと繋げている。一人一人の考え方や価値観、認識の仕方が違う事があると意識し、お互いの話を聞いたり考え方を聞く事を大切にしている。職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している。</p> <p>様々なリスクに対する対策を講じているので、より一層リスクをマネジメントしてほしい</p> <p>保育の中で特にリスク高い地震や火事などの災害、大規模災害、不審者等の対応は年間計画を立て訓練を行っている。年間計画で立てた避難訓練や不審者訓練は、計画的に様々な状況を想定して(時間・状況・想定される内容)対策をするための訓練を行っている。園内の事故や感染症については事故簿に記入で起きた事の詳細や医療機関の受診やり取りについて記録している。事故簿は記録を職員間で周知し、保育内容の見直しや改善策の検討及び再発防止を行っている。これからも、より一層のリスクをマネジメントする取組に期待している。</p> | | | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|---|-------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-6 | 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している |
| タイトル① | 食する力が育つよう食育を行い場所がなくても栽培のできる水耕栽培に取り組んでいる | |
| 内容① | 園は子どもが食について興味や関心を持ち、食する力が豊かに育つよう様々な食育に取り組んでいる。園庭が無い場合でも栽培経験ができるよう検討し、1・2歳児が小松菜の水耕栽培を行った。子どもが自分の小松菜を育てられるよう一人にひとつの水耕栽培を用意し、種をまき、根の生える様子や生長を楽しむ活動となっている。収穫した小松菜はスープにして食する経験に繋がった。子どもに経験させたいことを検討し取り組んだこの活動は、子どもを豊かに育てるといふ園の姿勢であり、健康な心と身体を育てる園方針の実践となっている。 | |

| No. | | 特に良いと思う点 | |
|-----|------|---|--|
| 1 | タイトル | 地域との関係性を大切に地域貢献活動に取り組み、子どもも大人も豊かになる地域作りに繋がっている | |
| | 内容 | 園は地域貢献活動を通して地域の人と交流を持ち、関係性の向上に取り組んでいる。子どもが地域の中で育つことを大切に考え、出来る限り地域と関わりを持つ実践に繋がっている。介護福祉施設との交流で、直接触れ合うことができない中でも、子どもたちの手形で作った花束をプレゼントし、制作風景を動画や写真などで伝えることで、互いを感じる交流に繋がっている。子どもの手は小さくてかわいいと、大変喜んで貰いお礼のプレゼントをもらったこの取組は明日に繋がる取組であり、地域が様々に関わり大人と子どもが共に豊かになる地域作りに繋がっている。 | |
| 2 | タイトル | 安心の子育てに繋がるよう、保護者同士が交流する機会を設け、育児の話や情報交換ができる関係作りに取り組んでいる | |
| | 内容 | 園は保護者同士が交流を持ち、互いの顔を知り、子育てについていろいろな情報交換ができる関係性を作ることが安心の子育てに繋がると考え、懇談会の中で保護者が交流を持つ機会を作っている。自己紹介や子どものエピソード、趣味の話などその時々でテーマを決め話す時間を設けることで話しやすい雰囲気を作っている。父チーム、母チームに分かれ話をする事で、父目線、母目線で子育ての話をする機会となっている。保護者から好評を得たこの企画は、保護者同士のつながりを作り、子育ての安心につながる取組になっている。 | |
| 3 | タイトル | 様々な散歩や戸外遊びを楽しむ中で子どもが自然や人、もの、ことに出会い感じたこと、興味や関心など学びの芽生えを大切にしている | |
| | 内容 | 園は子どもが戸外で身体を動かし様々な自然に触れることを大切にしている。晴れた日には散歩に出かけ、雨などで外に出られない時は外気浴を行っている。親水緑道の桜やどんぐりの拾える公園、電車や車を見学できる場所など豊かな地域資源を活用した散歩を楽しんでいる。子どもが様々な人・もの・ことと出会い、何かを発見する喜びや驚き、感動など個々の子どもが感じたことを大切にしている。不思議なことに出会い触れたり試したりすることや興味関心など学びの芽生えを大切に、散歩マップを活用した戸外活動に計画的に取り組んでいる。 | |
| No. | | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | 保護者の意向のとりにいれに力を入れているが、苦情受け付けの仕組みのわかりやすい説明に期待したい | |
| | 内容 | 今回の第三者評価における、保護者に対する働きかけやその結果として高いアンケート回収率や多くの自由記述が寄せられるなど、保護者の意向とりにいれに力を入れている。また、園に対する意見や苦情の受け付け及び、解決については区の方針に従って、入園説明会や保護者会で説明している。苦情に対する組織的に速やかに対応する仕組みとして、苦情要綱に苦情受け付け担当と解決責任者で協力し誠実な対応を行っていくこととなっているが、保護者に向けた解決までの流れや苦情解決相談委員会の明示など保護者にわかりやすい説明に期待したい。 | |
| 2 | タイトル | 人権擁護のためのセルフチェックリストを実施しているが、計画的な研修の実施に期待したい | |
| | 内容 | 虐待に関する研修の機会が少ないことから、園の取組として職員の虐待の視点を養うため「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を行っている。各自チェック結果と振り返りシートを作成することで気付きを得ているが、虐待防止に関する定期的な研修に振り返りが十分とまでは言えない。今後は、虐待や人権に関するマニュアルの読み合わせや内部研修の充実、セルフチェックリストのより一層の活用など、定期的な振り返りや話し合いの機会を設けることで、全職員が学びを深めていくことに期待したい。 | |
| 3 | タイトル | 年間計画による避難訓練でのリスクの共有化を進めていますが、職員や保護者のさらなる周知が期待される | |
| | 内容 | 園では保育の中で特にリスク高い地震や家事などの災害、大規模災害、不審者等の対応については年間計画を立て火災訓練、地震訓練、消火訓練、通報訓練、水防訓練を行っている。また、日頃の保育活動については、戸外活動中の事故防止にお散歩ヒヤリハットマップを作成して玄関掲示板に掲示したり、職員が危険個所にマークしたり、安全に保育活動が行えるように掲示をして注意喚起を促している。一方、大規模災害による事業継続計画を策定しているが、職員に向けた事業継続計画訓練や保護者に向けた掲示での周知や配布などさらなる取組が望まれる。 | |